

「氷室地域のまちづくり構想（案）」に関するアンケート結果

1. アンケート趣旨

本市の東部に位置している氷室地域について、都市と自然との調和のとれた、また、自然や農業等の産業を生かし、地域の活力創出を目指したまちづくりを総合的に推進するために「氷室地域まちづくり構想（案）」をまとめました。

この構想（案）を市民にお知らせするとともにご意見を聞くため、アンケートを実施しました。

2. 実施期間

平成 18 年 4 月 10 日(月)～平成 18 年 5 月 10 日(水)

アンケートについては、広報ひらかた及びホームページ等でお知らせしました。

3. アンケート方法

ホームページの e - アンケートと、本庁（都市総務課）各支所及び東部整備室にアンケート用紙、回収箱を設置して実施しました。

4. アンケートの結果

(1) アンケート回答者 34 名

(2) 項目別の回答結果

問 1 あなたの年齢は。

20 歳未満 =	0	50 歳代 =	1 2
20 歳代 =	0	60 歳代 =	8
30 歳代 =	4	70 歳以上 =	4
40 歳代 =	6		

問 2 あなたは、どの区分に該当しますか。

氷室地域在住 =	1 1
氷室地域以外の市内在住 =	2 1
その他 =	2

問 3 下記の内容でご存知なものを選んでください (複数回答可能)

「枚方市で唯一の農業振興地域。」 =	1 2
「河内そうめん業。」 =	3 0
「酒造業。」 =	2 8
「エコ農産物。」 =	5
「コスモス、ひまわり等の栽培。」 =	2 4
「枚方の里山・収穫の秋 穂谷。(穂谷まつり)」 =	2 5
「関西文化学術研究都市。」 =	2 6
「けいはんなフィールドミュージアムウォーク。」 =	4
「里山保全の取り組み。」 =	2 2
「枚方市健康増進計画。」 =	4
「枚方市野外活動センター。」 =	2 4

問4 「氷室地域まちづくり構想(案)」全体のご意見をご記入下さい。

(いただいたご意見については要約し、項目ごとにまとめています。)

1 構想(案)全般について。

構想(案)への意見(要約)	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・ 名前に表れているようにその昔氷室として生かされた街の特性は自然を守ることに成り立ちます。本来の自然を一日でも一坪でも多く残した町づくりの柱にすえて下さい。・ 今以上に環境が悪くならない事を望む。・ 氷室地区の自然が保たれるようこの構想に書かれていることが全て実現するよう心から期待します。・ 今は、うぐいすやほととぎすの声が聞かれる氷室です、乱開発をしないように守って下さい。・ 氷室はこのまま余計な手は加えず原風景を残して欲しい。・ 自然との共存による「まちづくり」、農業の活性化を目指すことが適切です。・ 緑豊かな自然環境と山里の景観を守り育ててほしい。それには地域内の方々とともに市民の理解と協力も必要になる。レクリエーションと環境保全をうまく調和させて施策の展開を図ってほしい。・ 総合的に考えられたすばらしいまちづくり構想だと思います。・ 案が是非、実現するよう頑張ってください。	<ul style="list-style-type: none">・ 構想(案)は、「人と自然が共生するまちづくり」として、自然環境の保全・活用を図ることを基本方針としており、地域の自然環境や農業等の産業を地域の活性化に生かすとともに、市民の健康増進につながる施策を進めます。

構想（案）への意見（要約）	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・「里山保全基本計画」と関係法令等との密接な関連を含めた施策とタイムスケジュールをもった具体的計画の策定が必要であり、分かりやすい広報による市民の参加を得ること。 ・行政の責任、市民の役割、氷室地域の住民の役割、協働で取り組むための施策を分け、責任・役割を明確にすべき。 ・行政からの押し付けではなく氷室に住んでいる人が自ら考え納得した「まちづくり」が必要です。利害によらない住民のためのまちづくりを行ってください。 ・「氷室地域まちづくり推進課」又は「人と自然が共生するまちづくり課」を新設し、強く推進して下さい。 ・対象地域の何が有効に機能しているかの分析をした上での計画が必要である。 計画は有効的に採算が取れ、地域が他府県との境界に接している関係上、広域の地域計画の検討が必要ではないか。 民間の大手企業に業務委託を行うなどの計画も検討条件に挙げるべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・構想（案）は、氷室地域のまちづくりの基本的な方向性を示すもので、策定に当たっては、地元の意見もお聴きしながら検討してきました。 今後この構想をもとに関係する部署が連携し、「氷室地域まちづくり構想 施策プログラム」に示したスケジュールを目標に、具体の計画や市民等との協働について検討していきます。 また、広域計画である関西文化学術研究都市に沿った施策を推進しています。

2 構想（案）の内容について。

（１）地域の産業等を生かしたまちづくり

構想（案）への意見（要約）	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・農業を生かすことについての問題は、農業を営む担い手がない。耕作地は、農家が提供し、耕作者は、地元中心のボランティアを養成しては。	<ul style="list-style-type: none">・農業の担い手不足や遊休農地の増大などに対応するために関係法令の改正があり、大阪府と協議を行っています。遊休農地の利用について、農地所有者の意向が重要ですので、農業委員会では農地所有者にアンケート調査を行っており、今後これらをもとに検討していきます。
<ul style="list-style-type: none">・地産地消については、ここで採れた農産物を市内の学校の給食に全面採用することが、環境・食育教育に結びつくのでは。	<ul style="list-style-type: none">・以前より、学校給食に市内の農産物の活用を進めていますが、今後も、市内の農産物の供給量や品目の拡大を目指し、食育につなげます。
<ul style="list-style-type: none">・「枚方の里山・収穫の秋 穂谷。（穂谷まつり）」をもっとPRし、その中で、河内そうめんやすももの加工品を特産品として販売すべきです。多くの来場を求めるには、駐車場の整備が必要。	<ul style="list-style-type: none">・穂谷まつりは、広報ひらかたやホームページの掲載、TV等マスコミの取材によりPRしています。また、地元の農産物や加工品を販売されています。駐車場については、臨時駐車場などを設置していますが、参加については、バスの利用をお願いしています。

構想（案）への意見（要約）	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ かつて有名ブランド商品だった穂谷のそうめん「とみつる」と実力のある生産者を復活させて下さい。 ・ 河内そうめん、酒造振興は火が消えない内に予算化し早期復活をお願いします。 ・ 農業、そうめん業、酒造業など後継する人の意見、考え方が反映しているのか疑問である。 ・ 農業振興や郷土の伝統産業の活性化に向けたPRの一環として、常設の直売所を主要道路に設置できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統産業については、広報ひらかたやホームページを通じた情報発信により振興を図ってきており、その中でも、河内そうめんについては、伝統産業育成事業により、PRや生産者の育成に取り組んでいます。また、常設の直売所の設置は、維持管理等研究課題が多いと考えています。

（２）自然を生かしたまちづくり

構想（案）への意見（要約）	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 構想（案）について概ね理解できる。内容については、相当以前から言及されてきたものもある。特に里山については複雑な権利関係もあり、市行政の更なる強力なバックアップを願う。 ・ 活動拠点は既にある施設を利用すべきである。 ・ 穂谷から歩いたらその折り返し点あたりにバイオのトイレを設置して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 里山保全の具体的な施策等を示した「枚方市里山保全基本計画」と連携を図り、地権者等、市民、行政が協働して幅広く里山保全を進めるための取組みを行っていきま す。 里山保全活動の広がりに応じて、活動拠点の確保を既存の施設等の利活用を含め検討します。

(3) 健康増進のまちづくり

構想(案)への意見(要約)	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・ 枚方市野外活動センターを時々利用しますが、車での進入路は未舗装でくぼみもあり大変危険なので早期の整備を要望する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、枚方市野外活動センターへは、バスの利用や原則として市道穂谷狭戸線沿いにある駐車場の利用をお願いしています。 今後、野外活動センターの活性化の中で検討をしていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市有地の活用では、地元の要望を入れた具体的な計画を早急を実施されるよう要望します。 ・ 市有地を里山保全活動にいかし、地区住民に開放してもらいたい。 ・ 子供や老人がゆっくり安心して遊べる場所を確保して下さい。市有地の活用(穂谷の野外活動センターはとてもよく出来ていて活用されていますが、坂が多すぎて元気な人でないと行けないのが残念です。) ・ 第二清掃工場周辺の整備用地等の活用については、高価で手間のかかる桜等は植林しないで欲しい。 ・ けいはんなフィールドミュージアムウォークでのイベントは、元汚泥処分地が広大な土地ですので大きな広場を作って野外音楽会を開催して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (仮称)第二清掃工場周辺整備用地や枚方市一般廃棄物最終処分場等の市有地について、緑の復元やスポーツ活動の場としての有効活用を検討します。 なお、いただいたご意見については、今後、具体の事業を計画する中で、参考とさせていただきます。

(4) 住みよいまちの基盤づくり

構想(案)への意見(要約)	枚方市の考え方
<ul style="list-style-type: none">・公共交通のさらなる充実をお願いします。以前の「氷室循環バス」は、ダイヤ・路線とも失敗であった。自家用車に依存しない交通体系作りが必要です。	<ul style="list-style-type: none">・「氷室循環バス」については、地元の皆様のご意見を伺いながら取り組んできたところですが、今後も地元の協力をいただきながらバス路線等の充実に向け、関係機関に働きかけていきます。
<ul style="list-style-type: none">・市道氷室路の拡幅整備及び接道の拡幅整備は早急に実現を切望します。・氷室小学校の安全通学路をつくって下さい。・下水道整備に関連して、拡幅の難しい「氷室路」の電線地下埋設(電柱撤去)を希望します。	<ul style="list-style-type: none">・市道尊延寺穂谷線(氷室路)については、地元の協力をいただきながら、安全面や防災上の観点から拡幅整備を行います。なお、電線地下埋設については、現在のところ困難であると考えています。